

(4) 振動の現況

振動については、騒音と同じように工場や交通などと深いかかわりを持ったところから発生しており、その感じ方に個人差があります。振動を感じるにより、睡眠障害や心理的影響があり、ひどくなると地震と同じように物理的被害がでます。なお、平成23年度は振動による苦情が1件ありました。

ア 規制地域の規制基準

(単位：dB)

地域の区分	時間の区分	昼 間	夜 間
		午前7時から 午後8時まで	午後8時から 午前7時まで
第一種・第二種低層住居専用地域 第一種・第二種中高層住居専用地域		60	55
第一種・第二種住居地域 準住居地域		65	55
近隣商業地域 商業地域 準工業地域		65	60
都市計画区域で用途地域の定めのない地域		65	60
工業地域		70	65

イ 震度階と振動(dB)の比較と影響

震 度	振動レベル	被 害 程 度
0	55 dB 以下	地震計(震度計)が検知し、人は揺れを感じない。
1	55 ~ 65 dB	地震や揺れに敏感な人が気付く。
2	65 ~ 75	多くの人気が付き、睡眠中の人の一部は目を覚まし、天井から吊り下げた電灯の吊り紐が左右数cm程度の振幅で揺れる。
3	75 ~ 85	ほとんどの人が揺れを感じ、揺れの時間が長く続くと不安や恐怖を感じる人が出る。重ねた陶磁器等の食器が音を立てる。
4	85 ~ 95	住宅等が大きく揺れ恐怖を感じる。睡眠中の人のほとんどが目を覚まし、吊り下げた物は大きく揺れ、重心の高い物が倒れる。
5弱	95 ~ 105	木造住宅の壁や軟弱な地盤に亀裂が入り、本棚から書籍が落下する。
5強		住宅の柱や壁の亀裂・破壊、テレビの転倒や食器棚から食器が落下する。
6弱	105 ~ 110	家具の転倒や窓ガラスが割れたり、倒壊する木造住宅が出てくる。
6強		ブロック塀の崩れや山崩れ、倒壊する住宅が多く出てくる。
7	110 dB 以上	耐震性の高い住宅・建物の破壊・倒壊、地割れ・地すべり等が発生する。